

横田基地での空砲の使用を伴う訓練について（口頭要請）

令和8年9月29日（火）に北関東防衛局から、「横田基地において、令和8年10月2日（金）の3時00分から16時00分まで、第374憲兵中隊による空砲の使用を伴う訓練を予定」との情報提供がありました。

従前より、当連絡会からは、通常の運用時間帯以外での訓練を極力実施しないよう求めてきました。

また、夜間早朝における訓練での空砲の使用による騒音は、基地周辺の住民の不安を助長するとともに、睡眠等が妨げられるなど、その影響は非常に大きなものです。

こうした基地周辺住民の生活環境への影響を踏まえ、次のとおり要請します。

- 訓練直前の情報提供では、周辺住民への周知が十分に行えないことから、周辺住民の不安軽減のため、訓練情報の早期提供を徹底すること。
- 通常の運用時間帯以外での訓練を極力実施しないこと。
- 基地の外に影響を及ぼさないよう十分な配慮を行うこと。
- 騒音が大幅に増加することがないよう基地周辺住民に十分配慮すること。特に、夜間早朝については、空砲を使用しないなど徹底すること。

令和8年10月1日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

ダニエル E. メンドーザ大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	山崎 栄

幹事 立川市長 酒井大史